

正和会 総括質問

乙津豊彦

正和会を代表いたしまして、平成28年度福生市一般会計決算について総括質問をさせていただきます。

市長は、平成28年第1回定例会において施政方針を述べられました。任期の最後の定例会に際し、8年間の実績、想いを語られました。このことに関しては直後に行いました一般質問において発言させていただきました。繰り返しません、2期8年間でよくここまでいろいろな施策を実現された、という感想は今も変わりません。

その際、市政の重要事項について^{るる}縷々語られました。福生市版の総合戦略、新公会計制度の推進、マイナンバー制度、中心市街地活性化、防災食育センター・災害時対応施設、横田基地対策などについてご自身の考えを述べられました。これらの事業を自ら成し遂げると受け止め、5月の市長選挙に立候補するご意思を確認させていただいたところです。

続いて、市の財政状況と平成28年度予算について述べられました。平成28年度は、第4期総合計画修正後期基本計画の2年目となり、その計画に基づいたさまざまな取組について、七つのまちづくりの目標に沿って紹介していただきました。

そのようなお考えをもとに事業を編成されたことと思います。決算の数字を見ますと、平成28年度は歳入総額約266億8946万円で前年度比6.2%の増、歳出総額は約255億7652万円で前年度比8.5%の増と過去最高を塗り替え、臨時財政対策債は予算では4億円を組み入れてありましたが、補助金や交付金を積極的に活用され借り入れずに済みました。市債の借り入れはありますが、歳入歳出差し引き約11億1296万円で平成27年度より減りはしましたが、大きな繰越額を計上し、平成29年度以降に実施を予定している大規模事業に対しての備えもすることができております。このことは、平成27年度同様各部署が知恵と工夫を絞って積極的に財源の確保に取り組まれ、また事務事業も効果・効率的に取り組まれた成果だと評価するところであります。

そこで、市長に何点かお尋ねします。

まず、先ほども申し上げましたが、市政の重要事項について特に総合戦略についてその実施状況について伺います。

次に、平成28年度予算について、七つのまちづくりの目標に沿って紹介されましたが、主な取組について伺います。また、第6次行政改革大綱策定後2年目を迎えたわけですが、その取組内容について伺います。

次に、教育行政について伺います。

川越教育長は、新教育委員会制度をいち早く取り入れ、総合教育会議が開催され2年目を迎えます。市長から発言された「教育立志（立市）福生」をよく引き合いに出されます。市長も子育て施策の一環として学校教育に力をいれておられます。

平成28年第1回定例会における「教育委員会の基本的な考え方」を改めて読んでみますと、市長が策定された教育大綱の基本方針に沿って教育目標が立てられていることがわかります。

基本方針ごとに具体的な取り組みを語られました。基本方針1では、学力向上、英語教育、ふっさっ子スタンダード、特別支援など、基本方針2では、コミュニティー・スクール、学校給食など、基本方針3では、第2期福生市生涯学習推進計画（修正後期）、基本方針4では、ふっさっ子の広場、学童クラブなどです。

そこで、基本方針ごとに主な重要施策について平成28年度の取り組み状況について伺います。

以上、よろしくお願いいたします。

《市長並びに教育長から答弁》

市長並びに教育長からのご答弁ありがとうございました

まず、総合戦略についてですが、平成28年3月に「福生市人口ビジョン及び総合戦略」を策定されました。5つの施策分野に渡り、数値目標を掲げ具体的な施策を示しています。合計65の主な事業を推進するとされています。実施状況の説明を聞き、初年度として多くの事業に取り組んできたことがわかります。これらは決算審査における事業として状況をうかがい知ることができます。

福生市消防団第三分団の全国消防操法大会での優良賞受賞、日系DUAL及び日本経済新聞社による共働き子育てしやすい街ランキング全国第2位受賞等は市の施策の成果と見ることができます。また、定住化施策では人口の減少幅が改善されたとのことでした。私も評議員を務めている第五小学校においては毎年1学年が1クラスになることを心配していましたが、この年以降2クラスを維持できています。子育て世帯が増えたのではないかなと思っています。

次に、平成28年度予算について、まちづくりの目標に沿って主な取り組みをお聞きしました。特に新公会計制度にはいち早く取り組まれ、今回初めてのこの制度の下で決算審査が行われました。事業ごとに資産、コスト等が明らかにされましたが、これらの絶対的な審査は難しい課題と捉えています。全国初の取り組みも行わ

れており高く評価します。平成29年度で検討されていると思いますが、審査の中でも指摘させていただきまして、市民に対するアカウンタビリティ、つまり説明責任を果たすための工夫に取り組んでいただきたいと要望します。

決算審査の中で、市長及び部長が手を挙げられました。いずれも、財源確保のために力を注いだことを述べられたものです。かように、トップ自ら、当然現場においても積極的に財源確保にご努力されたと評価します。

教育行政について教育長から熱いメッセージを受け取りました。学校教育についてはふっさつ子を想う心、気概を感じました。ご答弁で引き合いに出された「平成28年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」を読みました。巻末に有識者の評価として、放送大学の岩崎教授と東京学芸大学教職大学院の金子教授が筆を寄せておられます。両氏とも福生市の教育行政に関して高い評価を行っておられます。一方、課題も指摘されておられます。これを見て教育に終わり（ゴール）はないのではないかと感じたところです。総評では「教育先進市」の名で全国に知られることを期待したい。「教育立市・福生」、これは先ほども申し上げましたが、総合教育会議で市長が発言された言葉です、の名にふさわしい取組のいっそうの充実を期待する。とあります。奇しくも監査委員から全庁的な取組として事業の精査を指摘されましたが、金子教授からの提言で「事務局みずからが思い切った事業の廃止や取り組むべき事業の重点化を推進し、学校の教員がその担うべき業務に専念できる環境を整備していくべき」と結んでおられます。教員の時間的負担の軽減という意味もあると思います。川越教育長にはまだまだやっていただくことがたくさんある、と思っております。

平成28年度決算については、審査を通して市長をトップに全庁的に取り組まれたことが確認できました。決算認定に反対された会派の委員から健全性を指摘されたことも印象的でした。正和会としても本決算が適正であることを確認できたと思いますので、平成28年度福生市一般会計決算について認定することに賛意を表しまして総括質問を終わります。

平成29年9月15日